



清流

立山町立立山中央小学校

令和5年7月

1学期も残り2週間ほどとなりました。5月に新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同等の扱いになり、過去制限していた教育活動を改めて見直し、実施の可否を検討してきました。ただ復活させるのではなく、子供たちの成長にどうつながるのかを明確にした多くの行事を実施することができて、とてもうれしく思います。

「七夕飾りづくり」での竹の準備や「水泳学習」での安全管理等で、愛育会の皆様のお力をたくさんお借りしました。多くの方々の協力で、たくさんの子供たちの笑顔が生まれました。学校を応援してくださる方々の存在の大きさを改めて感じます。本当にありがとうございました。

子供たちにとっての楽しい学校

「天才は努力する者に勝てず、努力する者は楽しむ者に勝てない」論語で有名な中国の哲学者、孔子の言葉です。直訳すると「知識がある人は、それが好きな人には敵わない。好きな人は、それを楽しむ人には敵わない」となるそうです。「物事に楽しんで取り組める力」が大事だということがよく分かります。学校もぜひ、子供たちの学びを楽しむ気持ちを育む場でありたいと日々取り組んでいます。



6月末に子供たちに学校評価アンケートを行いました。その中の「学校は楽しいですか」という設問に対する子供たちの回答結果を以下に示しました。

※四捨五入の関係で総計 100%にならない場合があります。例) $59.0+32.2+7.4+1.4=100$ ⇔ $59+32+7+1=99$

	◎	○	△	▼
全体※	59%	32%	7%	1%
1年	84%	12%	4%	0%
2年	68%	25%	6%	1%
3年	53%	37%	9%	1%
4年※	66%	27%	5%	1%
5年	53%	35%	9%	2%
6年	33%	54%	11%	2%

今回の調査では全学年で肯定的な回答(◎・○)が9割近い値を示しました。子供たちにとって学校は概ね楽しい場所となっていることが伺えます。しかし

それは学校を楽しいと思えない子供が1割程度もいるということになります。また、学年が上がるにつれて、◎の回答割合が減っていることも気になります。これらの子供たちが今以上に「学校は楽しいところだな」と感じられるよう取り組んでいくことが、学校の優先課題です。

そのために2つのことを大事にしたいと考えています。1つは「教職員が子供たちの心の居場所を創り、少しでも学校が楽しい場所になるよう努めること」。もう1つは「自分たちで楽しさを見付けたり、創ったりしていける力を子供たちに育くむこと」です。そうすることで中央っ子が、自分や自分たちで楽しい環境をどんどん創り出し、生き生きと力を発揮していく姿が見られると考えています。中央っ子のみんなが「楽しむ者」になるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。